



出展者 (50音順)

あ	株式会社IHI検査計測 株式会社ASICON / Microworks GmbH 株式会社ANSeeN / 静岡大学 アンドール株式会社 アンリツ株式会社 株式会社イシダ 栄進化学株式会社 株式会社エイチ・エー・ティー Excillum 株式会社エックスライン 株式会社エビデント
か	カールツァイス株式会社 共栄テクノス株式会社 株式会社近畿レントゲン工業社 ケイエルバイ株式会社 株式会社検査技術研究所 コメットテクノロジー・ジャパン株式会社
さ	株式会社JMC 株式会社島津製作所 株式会社昭和製作所 SPECTRUM LOGIC スマートビジョン株式会社 ソフトウェア株式会社 ダコタ・ジャパン株式会社 株式会社タセト タレスジャパン株式会社 つくばテクノロジー株式会社

株式会社Drtech In Japan Zhengzhou Runde Dellonscope Co., Ltd. テクノライフジャパン株式会社 テスコ株式会社 電子磁気工業株式会社 東芝ITコントロールシステム株式会社 株式会社東陽テクニカ トーレック株式会社 な 西村陶業株式会社 日本結晶光学株式会社 日本工業出版株式会社 日本3Dプリンター株式会社 日本電磁測器株式会社 一般社団法人 日本非破壊検査協会 一般社団法人日本非破壊検査工業会 日本マテック株式会社 は 浜松ホトニクス株式会社 パレックスイメーシングジャパン株式会社 VIEWWORKS 株式会社フィッシャー・インストルメンツ 富士フイルム株式会社 フライアビリティ ブルーフェクニック株式会社 ブルカージャパン株式会社 PROMAG Technologies Development Limited ペーカーヒューズ ウェイゲート・テクノロジーズ ポニー工業株式会社

ポリウムグラフィックス株式会社 マークテック株式会社 マイクロ・スクエア株式会社 株式会社マツケン 株式会社ミルス・システムズ 株式会社明電舎 メーブルピックス株式会社	や	山口産業株式会社 洛陽威爾若普檢測技術有限公司
ま	株式会社リガク 菱電湘南エレクトロニクス株式会社 ローマン・ジャパン株式会社 ノイジーテストソリューション株式会社	アカデミックコーナー出展者 金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター (ICC) 東京大学人工物工学研究センター 長井研究室 東京大学 大学院工学系研究科 精密工学専攻 大竹研究室 徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 徳島大学 ポストLED フォトニクス研究所 豊橋技術科学大学



第12回

総合検査機器展

Japan Inspection Instruments Manufacturers' Show

安全と品質を支える検査と計測…非破壊検査



主 催：(一社)日本検査機器工業会

特別協力：産経新聞社

2024年9月18日[水] - 20日[金] 10:00-17:00
東京ビッグサイト 東1ホール

www.jima-show.jp



同時開催展

- INTERMEASURE2024 (第31回計量計測展)
- センサエキスポジャパン2024
- 地盤技術フォーラム 2024
- IFPEX 2024 (第27回油圧・空気圧・水圧国際見本市)
- FORESTRISE2024 (第4回次世代森林産業展)
- 土壌・地下水浄化技術展
- 地盤改良技術展
- 基礎工技術展
- 災害対策技術展



来場事前登録のご案内

総合検査機器展はWEBでの**事前登録が必要**になります。公式HPより来場事前登録を行ってください。

公式HPにアクセス

「来場事前登録」から登録してください。



www.jima-show.jp

来場者バッジをプリントアウト

登録完了後に発行される来場者バッジを
プリントアウトして、会場に持参してください。



来場者バッジでご入場

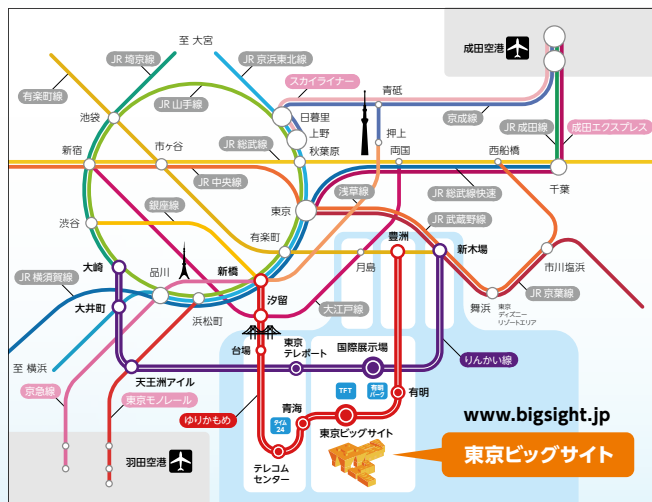
来場当日、来場者バッジを持参の上、
ご入場ください。



会場アクセス

東京ビッグサイト

●りんかい線	新木場駅 (JR京葉線、東京メトロ有楽町線) ⇒ 約5分 ⇒ 国際展示場駅 [下車徒歩約7分] 大崎駅 (JR) ⇒ 約14分 ⇒
●ゆりかもめ	新橋駅 (JR、都営地下鉄浅草線、東京メトロ銀座線) ⇒ 約22分 ⇒ 東京ビッグサイト駅 [下車徒歩約3分] 豊洲駅 (東京メトロ有楽町線) ⇒ 約8分 ⇒
●バ ス (都営バス)	東16 東京駅八重洲口 (東16系統、豊洲駅前経由) ⇒ 約40分 ⇒ 東京ビッグサイト 都05-2 東京駅丸の内南口 (勝どき駅前経由) ⇒ 約40分 ⇒ 門19 門前仲町 (門19系統、豊洲駅前経由) ⇒ 約35分 ⇒
●空港バス	羽田空港 ⇒ 約25分 ⇒ 東京ビッグサイト
●首都高速道路	台場・有明・臨海副都心・豊洲出口から約5分



www.bigsight.jp

〈主 催〉(一社)日本検査機器工業会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-5 九段ロイヤルビル 3F
TEL. 03-3288-5080 FAX. 03-3288-5081
https://www.jima.jp

〈展示会事務局〉産経新聞社 事業本部 コンベンション事業部

〒100-8079 東京都千代田区大手町 1-7-2
TEL. 03-3273-6180 FAX. 03-3241-4999 E-mail. jima@sankei.co.jp
https://www.exposankei.jp

開催概要

名 称	JIMA2024 第12回総合検査機器展
会 期	2024年9月18日 (水) ~ 20日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00
会 場	東京ビッグサイト 東1 ホール
入場料	無料 (完全事前登録制) JIMA2024 の登録で同時開催の展示会の他、東4-6 ホールで開催の展示会にも入場可能です (再登録不要)
主 催	一般社団法人 日本検査機器工業会
特別協力	産経新聞社
後 援	経済産業省、国土交通省、文部科学省
協 賛	(一社)日本非破壊検査協会、(一社)日本非破壊検査工業会、(公社)自動車技術会、石油連盟、 (公社)土木学会、(一社)日本機械学会、(一社)日本計量機器工業連合会、(一社)日本建築学会、(公社)日本材料学会、 (一社)日本食品機械工業会、(一社)日本鋳鍛鋼会、(一社)日本チタン協会、(一社)日本鉄鋼連盟、(一社)日本溶接協会、 (一財)発電設備技術検査協会、(一社)溶接学会

出展内容

検査手法	エックス線、ガンマ線、ベータ線、超音波、渦電流、磁気、磁粉、浸透、歪、漏えい、アコースティックエミッション、 ビジュアル (光学)、レーザー、サーモグラフィー、マイクロ波など
用 途	寸法測定 (長さ・厚さ・幅)、材質評価 (判別・導電率・異材・硬度・焼入れ深さ・溶接不良・接着不良・弾性率測定)、 探傷 (割れ・ラミネーション・コロージョン・ボイド・巣・異物・インクルージョン)、残留応力測定、食品検査、 電子部品検査、コンクリート検査など

出展者みどころページのご案内

出展企業の情報が事前に収集可能！
展示会開催前に出展者との商談予約も！

公式HP → 『出展者・製品情報一覧』



『特別セミナー』からは併催セミナーの
事前予約もご利用いただけます

気になる
出展者を
Click!



基調講演 同時開催展示会合同企画

日時 9月18日(水) 11:00～12:00 会場 東京ビッグサイト会議棟 605・606会議室 定員 300名

聴講申込方法 ホームページからお申し込みください。

詳細は決定次第ホームページにてお知らせいたします。 講師 経済産業省

特別セミナー

日時 9月19日(木) 11:15～16:50 会場 東京ビッグサイト 東1ホール セミナー会場E

企画協力：日本工業出版(株) 月刊「検査技術」 特別協力：産経新聞社

11:00 11:50	J9	Human in the Loop 機械学習を用いたAI腐食診断システムの実践 DXを進める企業において、業務プロセスへのAI活用はデータ取得の難しさなどから精度のギャップが課題である。本セミナーでは、Human in the Loop 機械学習を用いて人間とAIの協調による運用プロセスを提案する。化学企業のAI腐食診断システムを例に、AIの効果的な活用法と現場での実践事例を紹介する。 三菱ガス化学(株) 生産技術部 プロセス技術グループ 新保 利弘 氏	
12:20 13:10	J10	超大型X線CT装置によるデジタルエンジニアリングへの展開 産業向けX線CT装置の高出力化・高精細化・大型化はトレンドとなっている。600keV級は既に汎用レベルとなった。9MeV級も1m弱の被検体が扱える。本件は9MeV級で乗用車クラスの大規模被検体を扱える超大型X線CT装置による計測およびデジタルエンジニアリングへの展開について最新情報、今後の計画について紹介する。 サイバー・フィジカル・エンジニアリング技術研究組合 高山 光弘 氏	
13:40 14:30	J11	民間航空機製造現場における検査自動化とデータ活用 多品種少量生産の民間航空機製造現場では、品質ロスコスト低減に向けた品質改善が必要とされている。検査自動化により取得したデータ活用の事例や良品生産を維持するための製造現場に対する監査方法、品質改善を担う人材育成の取り組み、次世代航空機への検査技術開発などを紹介する。 三菱重工業(株) 民間機セグメント 事業開拓室 次世代構造技術グループ 高レート化技術チーム 主席チーム 統括 兼 品質保証部 品質マネジメント課 栗野 敏宏 氏	
15:00 15:50	J12	センサフュージョンによる地盤の可視化施工技術 Geo-DX 地盤の施工(例えばトンネルや造成)において、本来不可視な挙動や性状を可視化できれば、不均質かつ不確実な地盤に起因するトラブルを回避し、安全安心で生産性や品質の向上も可能となる。 そこで、センサフュージョンを駆使した地盤の可視化施工技術 Geo-DXに関する取り組みについて紹介する。 鹿島建設(株) 技術研究所 土質・地盤グループ 永谷 英基 氏	
16:00 16:50	J13	JR 東日本における線路設備モニタリング装置の導入と業務への活用 JR 東日本は保線部門における線路の状態監視、高頻度データの分析による最適保守等を目的に営業列車に「線路設備モニタリング装置」の導入を進めてきた。導入までの経緯や概要を説明する。また、モニタリング装置の導入による業務変化や高頻度データを活用した業務の生産性向上につながった事例を紹介する。 東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 設備部門 保線ユニット(保線戦略) 山口 剛志 氏	

新技術・新製品セミナー

会場 東京ビッグサイト 東1ホール セミナー会場E

9月18日(水)	
10:15 11:00	J1 フライアビリティ 屋内点検ドローンElios 3 新製品UTペイロードを紹介 若月 航
11:25 12:10	J2 アンドール株式会社 効率的な検査表作成のためのツールをご紹介します 松村 未知也
12:25 12:45	J3 徳島大学 CT画像を用いた人形浄瑠璃の頭の形状復元 浮田 浩行
12:55 13:40	J4 洛陽威爾若普檢測技術有限公司 ワイヤロープAI弱磁気非破壊探傷器 渡辺 隆
13:55 14:40	J5 株式会社JMC X線CTスキャンの新常識 CTのサブスク「SLASH.」について 田中 俊敬
14:55 15:40	J6 コメットテクノロジー・ジャパン株式会社 最新の密閉型メタルセラミックX線源メゾフォーカス 前田 健
15:55 16:40	J7 ポリウムグラフィックス株式会社 X線CT/3Dデータ活用による革新的なもののづくり 舟橋 博幸

9月19日(木)	
10:20 10:40	J8 金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター (ICC) X線位相コントラストイメージングによるCFRPの繊維構造解析 白井 武広

主催者企画

JIMAプラザ

JIMA(日本検査機器工業会)では、業界の健全な発展と振興、さらにはユーザーへのよりよいサービスを目指した様々な活動を行っています。展示会場内に設置するJIMAプラザではこれらの活動成果の一部をご紹介します、より多くの方にご理解頂けるように下記のコーナーを開設いたします。

アカデミックコーナー

大学・研究機関による最新研究成果の発表コーナーです。

金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター (ICC)	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部
東京大学人工物工学研究センター 長井研究室	徳島大学 ポストLED フォトニクス研究所
東京大学 大学院工学系研究科 精密工学専攻 大竹研究室	豊橋技術科学大学 機械工学系



☆JIMAプラザ アンケートに答えてドリンクGET!

JIMAプラザ内では空飛ぶクルマ、JIMA 製品、会員企業のカatalog等もご覧いただけます。アンケートをJIMAプラザ受付までお持ちいただきますと、ドリンクと交換をいたします。

試験片コーナー

検査に重要な試験片を供給しています。JIS規格でありながら市販されていないものの製作・販売、入手しにくい海外規格品の輸入・販売。規格がないものは設計・規格化から行っています。

- ・X線用解像度チャート: サブミクロンの分解能確認用試験片
- ・食品異物検査用の様々な材質、寸法の異材質基準試験片
- ・磁粉探傷試験用海外規格試験片—— ASTM、ISO
- ・浸透探傷用規格試験片—— JIS、ISO
- ・渦流探傷用試験片—— JIS、JIMA
- ・超音波探傷用イージーチェッカー—— JIMA

見本展示コーナー

①空飛ぶクルマ実機展示 ②VR飛行体験

①実機展示「EH216-S」(EHang)
中国国内で型式証明を取得したメーカー「EHang Holdings Limited」が製造するEH216-Sの実機を展示いたします。この機体は2023年6月に沖縄県の離島間を結ぶ実証実験で、アジアで初めて海上2地点間の飛行に成功しました。
また、今年3月には茨城県つくば市でも実証実験を行い、関東で初めて飛行した「空飛ぶクルマ」となりました。



②VR飛行体験(Eve Air Mobility)

大手航空機メーカーエンブラエル傘下の「Eve Air Mobility」が提供するVR飛行体験です。機体は最大6名乗りで、後部座席に座っているかのようなフライトをお楽しみいただけます。